

各種公園施設の整備

利用・安全

●児童遊園

短期・中期

≪藤棚≫

南側の藤棚が使用禁止となっているため、緊急対策として早期に改修する。

≪遊具≫

基礎コンクリートの露出など、安全上の問題の部分は早期に安全対策を実施する。

遊具の更新については、公園施設長寿命化計画に基づき、適切な時期に実施する。

≪ごみ置き場周辺≫

著しく景観を損ねているほか、隔離されていないため部外者等が近づく恐れがある。

景観向上と利用者の安全確保のため、児童遊園の広場部分から遮蔽するなどの改善を図る。



藤棚の改修イメージ

●ベンチ・四阿

短期・中期

新旧さまざまな材質・形状が混在するほか、休みづらい場所に配置されているものもある。老朽化・利用・景観の観点から、全面的にベンチを更新、再配置する。



鬼神屈西側の四阿については、歴史性を感じさせる作りとなっているが、老朽化が見られるため、改修を検討する。

●園内灯

短期・中期

場所によって異なるデザインとなっているほか、正門前口や児童遊園など、夜間開放区域での設置間隔が疎らであることから、文化財的価値を損なわないよう、照明効果や景観面等を考慮し、園内照明を改善する。



●公園トイレ（児童遊園・さくらの広場・つつじ園）

中期

現況と課題

構造や設備、内外装の劣化が見られ、清潔感を保てていないほか、バリアフリー基準への不適合が見られる。



再整備の方向性

現在の躯体を活用し、洋式化やバリアフリー化、内外装や劣化部分等の改修、景観向上等を順次、進めていく。

●埋設施設（給水・排水・電気）

短期・中期

現況と課題

- ・給水・排水・電気の埋設配管、配線が老朽化している。給水においては漏水が発生し、排水においては雨水排水（透水）不良が顕著になり、表面滞水、園路や階段、スロープでの雨水流出が頻発している。
- ・電気については、時空岡周辺において、地表面に露出したハンドホールや架空線が景観を損ねている。

再整備の方向性

- ・公園全域において、舗装等の改修整備を契機に、給水・排水・電気の埋設配管、配線の全面的な更新を進めるとともに、排水の改善を図る。
- ・ハンドホールの配置の見直し、架空線の地下埋設化を検討する。

案内・解説施設（サイン）

活用

●名勝指定に係る標識・説明板の設置

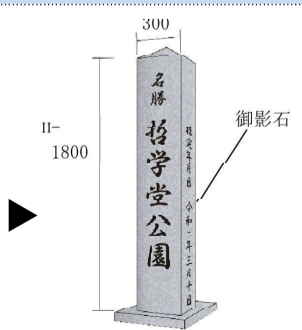
短期

国の名勝に指定されたことを来園者にわかりやすく示すため、国の「史跡名勝天然記念物標識等設置基準規則」に基づき、石造の「標識」と、指定年月日や名勝指定説明等を記載した「説明板」を設置する。

設置場所は、初めて来園する利用者の目に留まりやすい正門前口～野球場周辺を想定する。



現在の標識



新たな標識（イメージ）



説明版（イメージ）